

あけましておめでとうございます

核兵器のない世界へ扉を開く希望の年に

核兵器全面禁止は世界のゆるぎない流れに

昨年12月、第66回国連総会は、核軍縮に関する決議を相次いで採択しました。核兵器全面禁止条約の交渉開始を求めるマレーシアなどの提案が、賛成130、反対26、棄権23と、圧倒的多数の支持を得ました。核保有国である中国や北朝鮮、インド、パキスタンも賛成票を投じました。

この事実は、ほんの一部の核保有国が決断すれば、核兵器禁止条約の交渉開始は、いまずぐにも可能であることを示しています。

今年も、4月30日からウィーンで次回NPT再検討会議に向けた最初の準備委員会が開かれ、年内にはフィンランドで中東非核兵器地帯についての国際会議が開催されます。核兵器禁止にむけてさらに大きな前進が期待されます。

「核の傘」はもうない！

日本原水協は、日本政府に対し、核兵器全面禁止条約を提唱すること、アメリカの「核の傘」から離脱し、核密約をすべて破棄し、「非核三原則」を厳守するよう再三求めてきました。

しかし、昨年、日本が提案し採択された決議には「核兵器禁止」という文字はありません。マレーシアなどの提案にも「段階的なアプローチではないから」と言って棄権しました。

日本政府が核兵器禁止の先頭に立てないでいるのは、アメリカの核兵器や核戦略に、日本の平和や安全を頼っているからです。私たち国民の願いは、日本が被爆国として、平和憲法と「非核三原則」を持つ国にふさわしく、核兵器禁止のイニシアチブをとることです。「核の傘」をやめさせ、非核平和へ日本を変えましょう。

あなたの署名が国際政治を動かします

昨年2月、潘基文国連事務総長やノーベル賞受賞者、国内外の多くの著名な方々の賛同を得てスタートした「核兵器全面禁止のアピール」署名は、大震災と原発事故が起こる中でも全国各地でとりくまれ、10月には国連総会第1委員会に自治体首長の766人を含む102万9031人分の署名を提出することができました。

核兵器のない世界へ、歴史のページを開くのは、そのために努力する多くの国の政府と私たち市民社会の草の根の行動です。

あなたもぜひ署名にご協力ください。

(2012・1・6)



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>